

通 知

平成 28 年度 東京形成歯科研究会×新潟大学 「共同研究」
論文「筆頭著者」「共著者」募集締切の件

(送信枚数： 3 枚 ※本状含む)

(一社)東京形成歯科研究会 会員 各位

特定細胞加工物製造施設・再生医療等提供機関 各位

平成 28 年 12 月 2 日

〒114-0002 東京都北区王子 2-26-2

ウェルネスオクデラビルズ 3F オクデラメディカル内

一般社団法人東京形成歯科研究会 理事長・施設長 奥寺 元

TEL: 03-3919-5111 / FAX: 03-3919-5114 / E-mail: okudera@carrot.ocn.ne.jp

前略

先般ご案内致しました“論文「筆頭著者」「共著者」エントリー確認”の件ですが、この通知をもちまして、募集を締め切りとさせていただきます。

「筆頭著者」「共著者」のエントリー状況は、別紙（本状含め、2・3 枚目）の通りでございます。

ご不明な点があれば、当会事務局（TEL：03-3919-5111）までご連絡下さい。

草々

平成28年度 東京形成歯科研究会×新潟大学「共同研究」

論文テーマ(仮称):PRP派生物質 PRF/CGFの物性解析(案)「引張試験」 A-PRF膜およびCGF膜の機械的強度とfibrin fiberの形態的評価

投稿時期:平成29年1-2月中旬→2月上旬 ※予定

概要:PRF等の増殖因子の徐放性に関する研究報告が近年増加しているが、その実験系は生体をシミュレーションしたものとはいいがたい。また、その徐放性のメカニズムに関する考察はない「現象論的議論」で〇〇の方が優れているという短絡的に結論に一喜一憂している。PRF内で増殖因子が保持されている機構はいくつか考えられるが、fibrin fiberの分解に伴って放出されることがメインになっていると考えるのが材料学的常識である。そこで、fibrin fiberの太さと密度を走査電顕で形態学的に評価するとともに、PRF膜の引張強度を評価することで、PRF膜の物性を明らかにして、われわれ自身の徐放性研究につなげる。←よって、11月の研修会ではfibrinの分解性の評価実験をデモします。

投稿先:

※敬称略

No.	Authorship	所属	名前	備考
1	筆頭著者	東京形成歯科研究会	礪邊 和重	
2	共著者	東京形成歯科研究会	渡辺 泰典	
3	共著者	東京形成歯科研究会	川端 秀男	
4	共著者	東京形成歯科研究会	北村 豊	
5	共著者	東京形成歯科研究会	奥寺 俊允	
6	共著者	東京形成歯科研究会	奥寺 元	
7				
8				
9				
10				
11	指導者	新潟大学	川瀬 知之	

平成28年度 東京形成歯科研究会×新潟大学「共同研究」

論文テーマ(仮称): 血小板のコラーゲン様タンパクへの接着性とクロット形成能に関する形態学的観察

投稿時期: 平成28年11-12月中旬→平成29年5月※諸事情により投稿時期が変更となりました。※予定

概要: 血小板は創傷組織に露出したコラーゲンによって活性化されて血餅を形成することが知られている。しかし、in vitroでのPRFのようなクロット形成過程において、血小板がコラーゲンに反応してどのような形態的变化を起こすかは知られていない。そこで、コラーゲンスポンジ存在下で血小板がどのような形態的变化を起こして接着あるいは凝集するかを評価する。←少し理解しにくいかもしれませんが、下の方に書いたガラス管のことが臨床的な観点からの目標です。その際に、富士フイルムが開発したコラーゲン様タンパク(RCP)に対する反応も比較検討する。このRCPは本来コラーゲンがもっている2種類の血小板接着因子のうち1種類を欠いた構造になっていることが特徴で、再生医療への普及を目指して開発された製品である。また、本研究はガラス採血管が入手困難になっている現在、プラスチック採血管に顆粒状のコラーゲンスポンジを含めることで、PRFを調製することができることを示す目的がある。←実証済みで、現在条件の最適化に取り込んでいます。さらに、次なる目標をsocket preservationにおける有用性の評価という臨床研究においている。

投稿先:

※敬称略

No.	Authorship	所属	名前	備考
1	筆頭著者	東京形成歯科研究会	月岡 庸之	
2	共著者	東京形成歯科研究会	中村 雅之	
3	共著者	東京形成歯科研究会	渡辺 泰典	
4	共著者	東京形成歯科研究会	北村 豊	
5	共著者	東京形成歯科研究会	磯邊 和重	
6	共著者	東京形成歯科研究会	奥寺 俊允	
7	共著者	東京形成歯科研究会	奥寺 元	
8				
9				
10				
11	指導者	新潟大学	川瀬 知之	